

学 校 だ よ り

高知市立高知特別支援学校



TEL (088)843-0579

FAX (088)840-9796

「やる気いっぱい 市特のなかま」をめざして

新学期がスタートして1か月。大型連休が明け、5月の活動に入ります。昨年度は行えなかった運動会が、目前に近付いています。

さて、本号では、学校教育目標や学校経営方針、本校の研究についてお知らせします。

- 1 教育目標 「やる気いっぱい 市特のなかま」
- 2 願う子どもの姿 ・ 自ら活動する子 ・ かかわり合う子 ・ がんばる子
- 3 願う教職員の姿 子どもの思いに寄り添う教職員
- 4 学校経営方針(5つの経営の柱)

～「みんなが支える・みんなで支える」を合言葉に～

子どもたちが充実した学校生活を送れるよう、全ての教職員が知恵を出し合い、力を合わせ、明るく元気で活力のある学校をめざします。

(1) 学校生活の充実 「今を豊かに生きよう」

- ・ 「目当てや見通しが持ちやすいように」、「一人ひとりが精一杯取組めるように」、「共に取り組み、大きな満足感・成就感を分かち合えるように」、主体性を大切にした学校生活の充実を図ります。
- ・ 「個別の教育支援計画」や「個別移行支援計画」に沿って生活や進路についての支援を計画的・組織的に行い、より良い生活につながる支援に努めるとともに、卒業後の生活についても支援の充実を図ります。
- ・ 「個別の指導計画」を生かし、願いや手立てを明確にし、学校生活をより良くするために、保護者と共有できるようにします。
- ・ 保護者との連携を密にして子どもへの思いを共有し、信頼に応える実践とその説明を大切にします。
- ・ 近隣の小・中・高等学校等との交流及び共同学習や、旭地区など地域との交流を積極的行います。

(2) 研究・研修の推進 「授業を通して自らを磨こう」

- ・ 発達や障害等に関する研修を推進し、子どもの思いに寄り添う支援の充実に努めていきます。
- ・ 授業研究を中心にした取組で豊かな学校生活作りを図るとともに、学級、学年、学部などでの話し合いを支援充実のための場として大切にします。
- ・ 全ての教職員が、それぞれの職種の専門性を高めるための研修に励みます。

(3) 学校組織の活性化 「教職員が一体となって子ども(学校)を守り育てよう」

- ・ それぞれの分野で危機管理意識を持ち、事故等への察知・対応力を高め、学校事故を未然に防ぐ手立てを講じます。
- ・ 子どもの安全・安心を守ることを最重要課題とします。
- ・ 学部主事や各部の長が中心となって、各部の間や事務・給食・スクールバス介助等との連絡調整を確実にし、責任ある運営に努めます。
- ・ 会議の効率化、情報の共有化を図ります。
- ・ 子どもの状況などの必要に応じて応援体制を組み、支援や対応に当たります。

(4) 地域支援の推進 「地域の良きパートナーをめざそう」

- ・ コーディネーターが中心となって校内支援体制の整備を推進し、関係機関との連携を密にして教育相談活動の充実を図ります。また、高知県及び高知市の特別支援教育研究会業務を受け持ち、地域における特別支援教育の充実のための取組を支援します。

(裏面へ続く)

- ・ 学校公開や運動会、杉の子祭、販売会（市特市）、研究発表会等を通して本校の教育実践を公開し、積極的に発信していきます。
- ・ 近隣の小・中・高等学校等との協力や、高知県・高知市特別支援教育研究会等への参加を通じ、学校間の相互理解を深めるとともに教職員の資質の向上を図ります。

(5) 学習環境の整備 「安全で潤いのある学校にしよう」

- ・ 子どもたちが健康で安全に活動できるよう施設設備の整備を進めるとともに、校舎内外の環境整備に努めて清潔な生活環境の維持に努めます。

5 本校の特色

- (1) 小学部では生活単元学習（遊びの指導を含む）と日常生活の指導を、中学部では生活単元学習と作業学習を、高等部では作業学習を、それぞれの時間割の中心に据えて学校生活を整えます。
- (2) 子どもたちが一定期間、一定のテーマを持って、できる限り自分自身の力で主体的に生活できるようにします。運動会や杉の子祭など学校全体で一斉に取り組む活動や、全校集会や卒業生を祝い励ます会などは、児童生徒会が中心となって企画・運営します。また、各学級においてもそれらの準備等の活動に取り組めます。
- (3) 卒業後の働く活動を中心とした社会生活に確実につながるよう、働く活動を学校生活に大きく位置付け、社会とかかわる生活を大切にします。教育活動の場を実際の社会に求め、高等部では企業や作業所等における現場実習を積極的に実施します。

6 本校の研究

研究主題 子どもの自立を支える豊かな生活づくり～確かな見取りと手立ての充実を通して～

今日を豊かに過ごし、明日を楽しみにする毎日の積み重ねが、将来を豊かに過ごすことにつながります。

本校では、本年度も、子どもたちが学校生活の見通しを持ちやすいようにするため、午前中に生活単元学習や作業学習を位置付けた、いわゆる“横帯状の時間割”として学校生活にまとまりを持たせます。こうした工夫を施しながら、学校生活における「子ども主体」の活動を支える「できる状況づくり」を追究し、日々の学校生活が豊かになるよう取組を続けていきます。

本校が教育課程に大きく位置付けている生活単元学習や作業学習などの「各教科等を合わせた指導」は、学習内容を国語や算数、社会といった教科別に指導するのではなく、児童生徒が日々の活動を通して経験的・实际的・総合的に学ぶことができるようにするものです。新学習指導要領（昨年度の小学部に続き、本年度から中学部でも全面実施）において重視される「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の育成や「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す上で、「各教科等を合わせた指導」は子どもたちの特性に応じた適切かつ有用な学習の形態です。

なお、本校は、本年度までの3年間、高知市研究協力校の指定を受けて「各教科等を合わせた指導」に関する研究を推進しています。令和4年1月28日（金）に研究発表会を開催する予定です。



13日（木）代休（15日）
 15日（土）運動会準備登校
 16日（日）運動会
 17日（月）代休（16日）
 18日（火）運動会予備日
 （この日にも開催できなければ中止）
 25日（火）高等部掃除教室
 31日（月）高3現場実習（～6／11）

スクールカウンセラーと学校カウンセラー

学校だよりの返信欄で、両者の違いについて御質問をいただきました。

スクールカウンセラーには心理学関係の資格をお持ちの方などが配置され、学校カウンセラーには学校教育に関する見識がある方などが配置されています。また、配置をするための教育委員会の事業が異なります。

どちらも、子どもたちや保護者、教職員の相談や支援に当たる点は同じです。